

令和3年度「日田市農業振興ビジョン」第4回推進委員会議事録

R4. 3. 23(水) 10:30～

庁議室

1. 開会（事務局）

2. 委員長挨拶

3. 議題

(1) これまでの経過及び市民意見公募（パブリックコメント）の結果について

(2) 今後の取組について

（事務局）資料1および資料2にて説明。

⇒いずれも承認となり、ビジョン改訂版の内容が確定。

議事終了後、委員より挨拶。

1)

県農協といたしましても、日田市農業の3カ年の振興計画を作成しているところでございます。市のビジョンと農協の振興計画をリンクさせたところで、日田市の農業振興に取り組んでいきたいと思っておりますので、今後とも関係機関の皆さま方のご協力を宜しく願います。

2)

大山農協では昨年、梅・すもも再生プロジェクトを立ち上げた。丁度運よく、市の農業振興ビジョンの改訂や、県の戦略会議があり、この再生プロジェクトを中身に反映させることができました。今後も協力を賜らなければいけないことが沢山あるかと思いますが、宜しくお願いします。また、日田市・大山管内では零細農家が非常に多く、収入でいうと50万円以下の農家が30～40%を占めるという状況です。この状況の中で、本ビジョンに基づいて、今後市や県の予算を今後どう投入していくかについてですが、中規模～大規模農家の方には個人に支援をしてもいいと思いますが、小規模農家の方の支援には個人ではなく、それを取り巻く農協などの組織、しくみ作りのところに予算を投入して、農家の方が働きやすいような体制作りをしていただきたいと思います。農家の方をステップアップさせるためにどうしていくか、市全体で一体感を持って、取り組んでいただくようお願いいたします。

3)

現在の世界情勢の中で大豆・小麦・とうもろこしなど穀類の市場価格の乱高下が激しいということで、多くは中国が買い手に入っており、日本国内としては、食料自給率を上げなければならないと危機感を持っている状況です。そのような状況の中で、本ビジョンの進捗管理を最低でも年に1回は開催しながら、各分野の状況を見極めていかなければならないと思う。特に食料自給率に関しては、国の方針でも今後引き上げていこうという計画ですので、日田の農業が取り残されることの無いよう、私も日田の農業が維持発展するように、この場を通じて貢献していかなければならないと思いますので、今後もよろしくお願いいたします。

4)

日田の基幹産業である農業をしっかりと振興していくために本ビジョンの改訂が成されたと思うのですが、私は観光の視点から述べますと、今までの農業は、良い農産品を作って販売してだけでよかったのかもしれませんが、近年は、生産したものを消費者にどう広げていくか、そしていかに良さを伝えられるかというストーリー、背景が大事な世の中になっています。その中で、本ビジョンには観光に関する部分も含めて、しっかり記載されています。我々も「農業×観光」を実践できるように取組を考え、皆さんとも相談させていただきながら、実施していきたいと思っています。メディアなどでも、日田の農業は最近元気があるなど感じているので、この調子で、いろんなところで注目できるように私も携わってきたいので、よろしくお願い致します。

5)

この一年間、本ビジョンの見直しに関わっていく中で、県の戦略会議や、国の施策の転換などもあり、良いビジョンが作成できたと思います。私事ですが、4月の人事異動で農業大に就任することとなり、生産現場の進行から、若い人を育てる分野を担当することとなります。今後は、若い人材を日田に送り込めるようにしていきたいと考えています。ますます日田の農業が振興することを祈念し、お礼を申し上げます。

6)

私の担当分野は農林基盤ということで、農業の生産活動を行う上での下支えの役どころです。本ビジョンの関係するページを開くと、一般市民の方が読んでも中々ぴんと来ないのではというところがあり、我々のPR不足を痛感しました。現在、日田市でも大肥や杉河内地区の圃場整備に取り組んでいるが、大肥であれば災害からの復興、杉河内はいかに畑地化を推進していくかなどのテーマについて、しっかり周知していけるよう、今後も、積極的に働き掛けていき、農家や住民の方に伝わるような声の出し方を進めていきたいと思っています。

とくに今回の改訂では「流域治水プロジェクト」という言葉を追加していますが、農業生産を行っていくなかで、大雨が降ると洪水にやられ、優良農地が無くなるということも現実としてあり得ますので、我々もしっかり注目して対応をしていきたいと考えています。

7)

この一年間、ビジョンの改訂にあたり、ご尽力いただいたということで、良いものに仕上がっています。ビジョンの内容については、農協や県の計画などともリンクしながら進めていければと考えています。来年度は人・農地プランの法定化や、みどりの食料システム戦略など大きく農業施策が変わっていく中で、ビジョンにも書かれている「日田の強み」をいかし、日田の魅力を発信できるような農業を推進していければいいと思っております。私も4月からは担い手分野へ異動となり、新規就農を含めた窓口になりますので、そういった方々にも日田の魅力を伝えながら、できるだけ多くの方を日田に引き込むような取り組みをしていきますので、よろしくお願いします。

8)

委員の皆様には、これまでビジョンの見直しにあたり、4回にわたる推進委員会にご出席いただき、ありがとうございました。多くの意見をいただき、反映しながら今回の改訂を行うことができました。ビジョンの内容については、市議会も注目をしておりまして、3月の定例会でも、議員の皆様から多くの意見をいただきました。特に重点施策に掲げております「担い手のサポート体制」に関連して、農業の労働力支援の話も挙がっております。いまは全農が中心となり、農業だけではなく、林業や漁業などの一次産業と連携した働き手の確保の仕組み作りに取り組んでおります。また、営農指導体制についても、今後は県と農協が連携し、指導体制の強化に取り組むことも伺っております。今後、ビジョンの推進を行い、進捗管理をしていく中で、状況を注視していきたいと思っております。

9)

今回改訂します農業振興ビジョンにつきましては、推進委員さんをはじめ、専門部会の皆さま、各種部会、地域住民等、幅広く皆さま方のご意見をいただき、日田市の農業の目指すべき方向性をまとめることが出来ました。今後、このビジョンに基づき、農業者・市民・農協・関係機関・団体・行政等が連携して取り組むことを切に願うものでございます。委員の皆さまには、感謝いたします。